

170 福王寺のヒイラギ



指 定 市天然記念物 平成9年3月14日
所在地 協 和
所有者 福 王 寺



植物分類上は、モクセイ科、モクセイ属、ヒイラギである。漢名は、“疼木”で疼はひ
いらく（痛む）という意。

福王寺の境内に植えられたヒイラギの大木。目通り幹周1.3m、直径40cmある。

佐久地方ではヒイラギはごく少ない中でこれだけの大きいものは他では見られず貴重である。

雌雄別株の植物で、雌株には両性花が咲き結実する。若い木の葉にはとげが2～5対つ
くが老木では円い葉となる。キンモクセイやギンモクセイと同じ仲間の植物であり、暖か
い地方では山地に自生するが、佐久地方では自生はなく、植栽されたもののみである。